

令和4(2022)年度の EPO業務実施報告

2023年1月31日

第2回 ESD/EPO運営委員会

主催イベントの開催について

2022年度に実施した（※一部実施予定の）EPO中部主催イベント／会合 1/2

区分	エリア	設営	開催日	参加者	催事名称／テーマ	備考
①地域循環共生圏フォーラム	長野県諏訪市	リアル・YouTube	11月23日	会場37名 YouTube 21件	地域循環共生圏フォーラムinSUWA 「諏訪広域エリアのもり・さと・かわ・うみビジョン」	<ul style="list-style-type: none"> 諏訪地域の活動団体（一社）諏訪広域脱炭素イノベーション協会と共催。 「地域ビジョンづくり」ワークショップを実施。
②SDG/地域循環共生圏ワーキング	(中部)	zoom	12月15日	17件	ローカルSDGs/地域循環共生圏セミナー 「SDGs17ゴールの紐づけの先へ あなた・地域・社会の変容に向けて」	<ul style="list-style-type: none"> 自治体職員向けセミナーとして企画。 SDGsチェックリストを活用したローカルSDGsの我がごと化ワーキング(WS)を実施。
③協働コーディネーターと連携した実践活動	長野県長野市芋井地区	リアル	11月5日	35名	信州ローカルSDGs勉強会 災害に強い地域づくりワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> 協働コーディネーター山室氏との連携企画。
		リアル	2月26日	未	こどもの自然体験、野外保育・ESD教育×国立公園の資源活用	<ul style="list-style-type: none"> 地区の豊かな自然環境、環境学習施設を活かした子どもたちの自然体験や探究活動のあり方等を考える勉強会を実施予定。
④環境白書を読む会	(中部)	zoom	9月13日	71件	なごや環境大学オンラインセミナー 環境白書からSDGs実践へ2022	<ul style="list-style-type: none"> なごや環境大学に協力して共催。 EPO中部が司会。
⑤PF事業中間共有会(中部ブロック会合)	(中部) 会場: 長野県大町市	リアル zoom	11月18日 19日	クローズド 22名	地域循環共生圏づくりプラットフォーム 構築事業 中間共有会(中部ブロック会合)	<ul style="list-style-type: none"> PF事業採択団体(中部3団体)による取組の中間報告会として実施。 2日目には、開催地・大町市の団体の案内で、活動地の山林、SHの木工家の工房等を視察。 ➤ P14参照。

※人:参加人数、件:接続数での把握

2022年度に実施した（※一部実施予定の）EPO中部主催イベント／会合 2/2

区分	会合	設営	開催日	参加者	催事名称／テーマ	備考
⑥地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化会合	三重県尾鷲市会合	リアル	1月20日	企業63社・参加者128名	令和4年度 おわせSEAモデル説明交流会「企業・金融機関等とのパートナーシップによる尾鷲市ローカルSDGs実現に向けて」	<ul style="list-style-type: none"> PF事業卒業団体支援を目的にした団体と企業・金融機関の交流・マッチングの場として企画。
	福井県丹南地区会合	リアル	2月7日	クローズド未	丹南エリアにおける里山里海ワイズユース × 地域ビジネス情報交換会	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動団体と金融・経済団体を交えた情報交換会を企画。 会場：地域活動者が営業する古民家レストラン。 PF団体、地域活動者、日本政策金融公庫、武生商工会議所関係者等が参加。
	東海セミナー	Webex・YouTube	3月6日	未	地域脱炭素の実現に向けた金融機関・事業者向けセミナー	<ul style="list-style-type: none"> 東海財務局、中部経産局、中部地方環境事務所、EPO中部主催の脱炭素セミナー。 金融機関、企業が登壇し、脱炭素経営と地域づくりをテーマにしたディスカッション等実施。
	信州セミナー	Webex・YouTube	3月14日	未	※上記・地域脱炭素セミナーの信州版テーマでの開催を予定	
⑦森里川海生態系ネットワーク形成会合	OECM情報交換会	zoom	11月8日	クローズド63件	OECMに関する情報交換会	<ul style="list-style-type: none"> 主に自治体を対象にしたOECM、及び「自然共生サイト(仮)」の情報共有を目的にした会合。 県による関連制度等の紹介と意見交換を実施。
	OECMフォーラム	zoom・YouTube	1月25日	Zoom62件 YouTube206件	生物多様性主流化フォーラムin中部「OECMを通じた企業の生物多様性保全活動」	<ul style="list-style-type: none"> 上記の行政向け情報共有会合に対し、参加者一般公募によるフォーラムを開催。 試行サイト企業3社による取組紹介等のほか、参加者からの質問を交えたトークセッションを実施。

※人：参加人数、件：接続数での把握

①地域循環共生圏フォーラム

開催日時:
2022年11月23日(水・祝)13:00~17:00

会場:
諏訪市文化センター・第2集会所
(長野県諏訪市湖岸通り5-12-18)
Googleマップ: <https://goo.gl/maps/XGkwwvLooeVxVtP6>

オンライン視聴:
第1部のみYouTube配信あり
※会場参加、オンライン視聴ともに
要・事前申込となっています。

参加申込フォーム
<https://forms.gle/dbWujQQhPGTSiwBj7>

WEB [epo-chubu.jp](http://www.epo-chubu.jp) @EPOchubu

QRコード

Eメールで参加申込の場合
宛先: info@epo-chubu.jp

①氏名(ふりがな)、②連絡先(メールアドレスと電話番号)、③ご所属先、④参加方法(会場参加、または、オンライン視聴のどちらか)を記載して、「件名:1123フォーラム」で11月18日(水)までに送信願います。



地域循環共生圏
参加無料
フォーラムin諏訪

地域循環共生圏フォーラム in SUWA
諏訪広域エリアのもり・さと・かわ・うみビジョン

第1部 13:00~開会/オンライン配信あり

【ごあいさつ】環境省中部地方環境事務所環境対策課

【講演】「森里海」の旅ーいのちと水の巡り
講師: 田中 克 氏 (京都大学名誉教授)

【講演】未来の子供たちにすてきなバトンを手渡したい!ー沖永良部島からー
講師: 石田 秀輝 氏 (地球村研究室代表、東北大学名誉教授、SuMPO理事長)

【地域の取組発表①】一般社団法人諏訪広域脱炭素イノベーション協会 代表理事 元木 誠 氏

【地域の取組発表②】株式会社八十二銀行 企画部サステナビリティ統括室長 中林 武 氏

【地域の取組発表③】東急リゾーツ&ステイ株式会社 資産企画統括部 徳田 圭太 氏

【第1部のまとめ】長野県環境部次長 真関 隆 氏

第2部 15:05~開始/会場参加のみ

【ワークショップ】諏訪広域エリアのもり・さと・かわ・うみビジョンを考える
ファシリテーター: 中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部)

【講師】田中 克 氏 (京都大学名誉教授)
石田 秀輝 氏 (地球村研究室代表、東北大学名誉教授、SuMPO理事長)

【まとめ/今後に向けて】
元木 誠 氏 (一般社団法人諏訪広域脱炭素イノベーション協会代表理事)

主催: 環境省中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部)
共催: 一般社団法人諏訪広域脱炭素イノベーション協会
後援: 長野県、茅野市、諏訪市、岡谷市、下諏訪町、富士見町、原村、八十二銀行、諏訪信用金庫、諏訪商工会議所

【お願い】新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力願います。会場参加は原則、長野県内の在住者・通勤者、及び活動団体の方のみとさせていただきます。また、事前の参加申込と、ご来場時のマスク着用が必須となります。開催日当日、発熱のある方や体調の悪い方は来場をお控えください(その場合の不参加のご連絡は不要です)。



環境省 EPO 中部

諏訪広域脱炭素イノベーション協会共催

諏訪でフォーラム

「地域循環共生圏」を目指す



持続可能な地域の将来像を考えた「地域循環共生圏フォーラム in SUWA」

環境省の中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部) は23日、一般社団法人諏訪広域脱炭素イノベーション協会 (諏訪市) との共催事業で、「地域循環共生圏フォーラム in SUWA」を諏訪市文化センターで開いた。京都大学名誉教授の田中克さん(79)らの講演やワークショップを通して、持続可能な地域の未来像を考えた。(小山由美)

環境資源を活用しながら自立・分散型の社会をつくり、支え合う「地域循環共生圏」を目指す試み。「諏訪広域エリアのもり・さと・かわ・うみビジョン」をテーマに、オンライン視聴を含めて約150人が参加した。田中さんは「森里海」の旅(いのちと水の巡り)と題して講演。東日本大震災の被災地を訪れた自身の体験を

- 長野県諏訪市で開催した地域循環共生圏フォーラムinSUWAで、諏訪地域の「なりたい地域の未来像づくり」ワークショップを実施。
- 参加者数等: 会場参加37名、YouTubeライブ配信視聴(ユニーク数)21件。
- 自サイト等への開催報告掲載・投稿:

<https://www.epo-chubu.jp/epo-news/17859.html>

長野日報2022年11月24日記事
(※記事の続きあり)

<http://www.nagano-np.co.jp/articles/101881>

②SDG/地域循環共生圏ワーキング

環境省中部環境パートナーシップオフィス(EPO中部)主催
ローカルSDGs/地域循環共生圏セミナー@中部

SDGs17ゴールの紐づきの先へ あなた・地域・社会の変容に向けて

開催日時:2022年12月15日(木)13:30~16:30

zoom開催/参加費無料

参加申込フォーム

<https://forms.gle/b8gk3k4zAD9XTP8dA>

開催日の前日、申込登録したメールへzoomの参加URLをお送りします。



▶メールで参加申込の場合

宛先:info@epo-chubu.jp
「①氏名(ふりがな)」 「②連絡先(メールアドレスか電話番号)」 「③ご所属先」を記載のうえ、「件名:1215セミナー」で12月9日までに送信願います。

ONLINE SEMINAR & WORKSHOP

1. はじめに

ご挨拶/環境省からのお知らせ
環境省中部地方環境事務所環境対策課

EPO中部とは/本セミナーの趣旨
EPO中部

2. 基調講演

ソーシャル・プロジェクトを成功に導く発想と技法
~SDGsの本質に対応し、「国連・ESDの10年」の経験を活かす
東京都市大学大学院環境情報学研究所 教授 佐藤 真久 氏

3. 話題提供

SDGsの我がごと化とSDGsの指標について考えてみる
中部環境パートナーシップオフィス(EPO中部) ESD責任者 原 理史

4. ワークショップ

「SDGsチェックリスト*」を活用したローカルSDGsの我がごと化ワーキング

※「SDGチェックリスト」について

- ・「SDGチェックリスト」は、事業や活動をSDGs17ゴールに関連づけて気付きを得られる、チェックリスト型のシートで、中部地方ESD活動支援センター(EPO中部)が独自に作成したツールです。
- ・本セミナー参加の際にはぜひ「SDGsチェックリスト」をお手元にご準備ください。
- ・なお、「SDGsチェックリスト」は、参加申込フォーム等に記載のURLから入手(DL)できます。
- ・EPO中部ウェブサイトでも公開しており、右のQRコードがURLから参照いただけます。



<https://chubu.esdcenter.jp/2020/04/10/2474.html>

- 主な参加対象を自治体職員として企画したローカルSDGs/地域循環共生圏セミナー「SDGs17ゴールの紐づきの先へ あなた・地域・社会の変容に向けて」を12月15日に開催。
- 毎年1月に開催していたが、今年度は12月に完全オンライン開催でワークショップ等を実施。
- オンライン参加者(接続数)は計17件。



③協働コーディネーターと連携した実践活動



信州ローカルSDGs 勉強会
災害に強い地域づくり

シモトをいつまでも暮らしやすい地域にするために！

【日時】 11月5日(土) 13:00~15:00
【会場】 長野市立芋井小学校体育館
(長野市桜600)

参加費無料
先着30名様
(オンライン参加あり)

災害に強い地域をつくるため、楽しく取り組む防災・減災活動と太陽光やバイオマスなど、身近な再生エネルギーを平時から暮らしに取り入れるライフスタイルについて、参加者みんなで考えます。

【事例発表】

- ◎ アクティビティから防災を学ぶ
- 被災経験からの防災キャンプ ~ 豊野地区住民自治協議会
- こどもたち自身が身を守るように~真島だんごむしカフェ
- ◎ オフグリッドを生活に取り入れる
- 里山での小さな実践~ 芋井地区住民自治協議会

グループでのディスカッションもあり今日からできるアクションを考えます

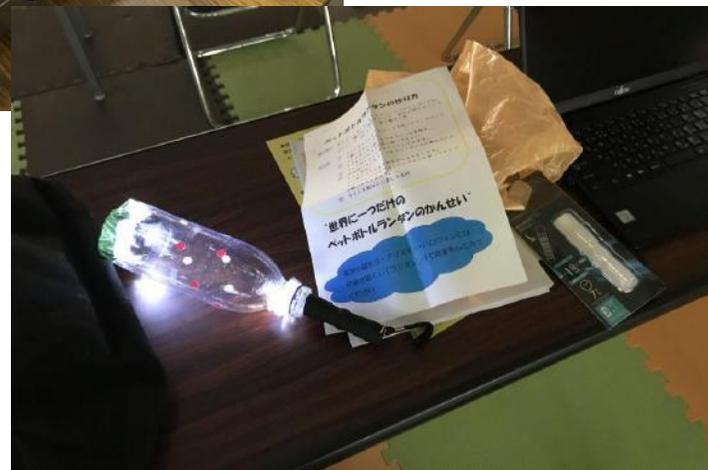
主催:環境省中部環境パートナーシップオフィス
(特非)長野県NPOセンター
協力:長野市立芋井小学校
(特非)長野県NPOセンター

参加申込フォーム

問い合わせ先 TEL 026-269-0015 MAIL info@npo-nagano.org

QRコード

- 長野県長野市で、協働コーディネーター・山室氏が所属する長野県NPOセンターとの連携開催で、信州ローカルSDGs勉強会「災害に強い地域づくり」を11月5日に開催
- 参加者数等:会場参加35名。
- 自サイト等への開催報告掲載・投稿:<https://www.epo-chubu.jp/epo-news/17721.html>



⑥地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化会合 1 尾鷲会合

- 三重県尾鷲市で、令和4年度おわせ SEA モデル説明交流会「企業・金融機関等とのパートナーシップによる尾鷲市ローカルSDGs実現に向けて」を1月20日に開催。
- 地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業の2019-2020採択団体・おわせSEAモデル協議会との連携開催。協議会関連プロジェクトと企業・金融機関等とのマッチングの機会設営を目的に開催を企画。
- 参加者数等：企業・金融機関等63社、参加者数128名。



プログラム 1/2

1. ごあいさつ

- 尾鷲市長 加藤 千速
- 環境省地域政策課
地域循環共生圏推進室長 佐々木 真二郎

2. おわせSEAプロジェクトについて (15分)

- 尾鷲市政策調整課 調整監 濱田 一多朗

3. 協力機関からの応援メッセージ (10分)

- 財務省 東海財務局
津財務事務所長 斎藤 誉 氏
- 国土交通省 中部地方整備局
四日市港湾事務所長 日置 幸司 氏

04

SEAモデル説明交流会

プログラム 2/2

4. プロジェクト・セッション (各プロジェクト5分)

- セッションの進め方 説明：EPO中部
- ① 尾鷲音色の森キャンプ場(仮)について
■ (株)インフィニティ52代表取締役 浜野 五十二 氏
- ② 親子3世代が憩う総合公園整備について
■ 尾鷲市生涯学習課長 平山 始 氏
- ③ 環境にやさしい陸上養殖について
■ 尾鷲商工会議所プロジェクト室長 山本 浩之 氏
- ④ 尾鷲市における製材工場立地の可能性について
■ 速水林業 代表 速水 亨 氏

○ 質疑応答 (60分) 進行：EPO中部

5. フリートークタイム (プロジェクト担当者との情報交換)

6. 閉会 (16:30予定)

05

おわせSEAモデル説明交流会

地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業
(以下、PF事業) の支援について

a) 環境省事業(PF事業)の採択団体

- ① ななおSDGsスイッチ(石川県七尾市)【PF七尾】※2年目
- ② 合同会社ローカルSDクリエーション(福井県丹南地域)【PF丹南】※1年目
- ③ 荒山林業(長野県大町市)【PF大町】※1年目

【採択団体への支援に加えて】

- 10・11月頃に中部ブロック3団体が集まり「中間共有会」(取組報告会)をEPOが開催
- 過年度採択団体の取組状況の把握(ヒアリング実施)

b) 協働コーディネーター※との連携事業

- 山室氏(長野県NPOセンター事務局長)と連携して長野県内でローカルSDGsの勉強会等

【今後の取組課題】

協働コーディネーターに加えて、EPO中部との連携・協力ネットワークの強化・新構築の必要性

c) その他

- 左a)に落選した「諏訪脱炭素広域イノベーション協会」との連携によるフォーラム等の開催
- <基盤強化業務>共生圏パートナーシップ基盤強化業務; **1.左a)の②・③団体を対象にした勉強会(計2回)**、**2.中部のPFと金融・企業との交流の場の設営を検討**
- <森里川海業務>森里川海生態系ネットワーク形成会合; **今年度からOECEMの対象地域等によるネットワーク形成をテーマにした会合実施**
※OECEM:民間取組等と連携した自然環境保全

PF団体支援：ななおSDGsスイッチ【PF七尾】の場合

- 2021年度にのど共栄信用金庫がPF事業の活動団体として採択され、2021年10月に産官学金9団体によるコンソーシアム「ななおSDGsスイッチ」が発足。プラットフォームを構築、稼働させた。
- 2022年度も継続採択となった際に、採択団体をのど信金から「ななおSDGsスイッチ」に変更。



参画組織9団体

- (産) 七尾商工会議所、能登鹿北商工会、独立行政法人中小企業基盤整備機構北陸本部
- (官) 七尾市
- (学) 国立大学法人金沢大学
- (金) のど共栄信用金庫、株式会社日本政策金融公庫金沢支店、東京海上日動火災保険株式会社
- (民) 一般社団法人七尾青年会議所



- EPO中部による支援として、PF団体事務局メンバーと定期的に打合せを行い、活動やプロジェクトの実施状況の確認・情報共有と共に、課題の見える化、SNSなどでの広報協力等を行っている。
- PF事業での各採択団体による実施必要事項となっている「SH(ステークホルダー)ミーティング」を、ななおSDGsスイッチは9月22日に実施。
- スイッチ及び七尾市がSDGs未来都市への申請を目指していることから、SHミーティングでは、団体側からの依頼によりEPO中部がSDGs未来都市の事例紹介と、最近の選定結果「総表」ポイントの紹介などを行った。

※ PF丹南はSHミーティングを1月18日に開催、PF大町は8月実施会合をSHミーティングに位置づけたいとしている。

PF事業中間共有会（中部ブロック会合）の実施

- ※ PF事業の各採択団体が取組状況について中間発表を行う「中間共有会」が、昨年まで全国会合として開催されていたが、今年度からは各EPO主催の地方ブロック単位での開催に変更となった。
- 中部ブロック「中間共有会」は、PF活動団体・荒山林業の所在地である長野県大町市で11月18日に開催。
- PF3団体が11月時点の取組状況を発表したほか、課題や今後の展開についてディスカッションし、加藤義人委員、田辺委員に3団体それぞれにアドバイスや情報提供等をいただいた。
- また、翌19日は、荒山林業の活動地（林業地）や、SHの工芸家の工房などを視察するエクスカージョンを実施。

地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業 中間共有会（中部ブロック会合） 実施内容（プログラム）

- 13:30 **1. はじめに** (15分)
ご挨拶
あらためて「地域循環共生圏」について
- 13:45 **2. 活動団体の取組発表** (60分=20分×3)
①【PF七尾】なおSDGsスイッチ
②【PF丹南】合同会社ローカルSDクリエイション
③【PF大町】荒山林業
- 14:45 **3. 先輩団体による取組紹介と活動団体へのエール** (20分)
【PF小布施】スマート・テロワール協会 勝亦達夫氏（信州大学キャリア教育・サポートセンター講師）
- 15:05 **4. 休憩&交流 フリータイム** (約20分)
- 15:25 **5. ディスカッション** (約50分)
- 16:15 **6. 本日の講評・感想など** (10分)
●一般財団法人CSO ネットワーク事務局長 長谷川雅子氏
●岐阜大学工学部客員教授 加藤義人氏
●NPO法人まちづくりスポット専務理事 田辺友也氏
- 16:25 **7. 事務局からの連絡**
- 16:30 **8. 閉会**



参考) 中間共有会ディスカッションに提示したシート ※各団体が記入

	PF七尾 ななおSDGsスイッチ	PF丹南 ローカルSDクリエイション	PF大町 荒山林業
PF事業で楽しいこと	<ul style="list-style-type: none"> ● 多くの関りしろとなるプロジェクトを創ることで、新たなつながりがどんどん生まれる点。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たなプログラムが生まれて今後も実施されるようになったこと 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人との交流 ● 事業費がなければできたらいいなで終わってしまうことにトライして試みることができる
PF事業で困っていること	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民と参画組織において、良いことだとは分かっているけど「誰かがやってくれるだろう」発想から、なかなか脱局できないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ● つながりをつくろうと思ってもなかなか時間が無い(みんな忙しくイベントや事業が重なる) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 不安とのたたかい(感情の波がジェットコースターのように押し寄せる)
特にアドバイスがほしい／解決したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ● 立上げ担当者やプレイヤーがいなくなった後も、持続可能なプロジェクトにする具体的な工夫や事例について。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 若い世代で動かしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 形成されつつあるプラットフォームが一点集中にならないで機能させていく為の方法
ほかの団体・参加者に聞きたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ● PFプレイヤーと施策担当者、本PF事業のKGIをどのように定めているのか。またそのKPI設定についても伺いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● つながりはどうやって作っていますか？ ● 環境活動に関し収益化などについて抵抗感をお持ちですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ● 合意形成のプロセスをどう踏んでいっているか
つながりたい人・もの・ことなど	<ul style="list-style-type: none"> ● 主体的で熱量があるプレイヤー仲間 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業ベースとして取り組みたいと思っている個人とのつながり ● 旅行業者とのつながり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 縁があってつながる人がいればそれは大歓迎です。

独自プログラムの作成・活用について

EPO中部ウェブサイトの充実化 例) お役立ちツールコーナー

活動見える化チャート事例の蓄積 (追加公開)

EPO中部が支援した取組、連携・協力した取組などを「活動見える化プログラム」にして、地域側にフィードバック。同時に、ウェブサイトにも掲載・公開。

<https://www.epo-chubu.jp/tool>

検討中

「SDGs指標物語」の公開

EPO中部で独自に検討中の「SDGs指標物語」の公開及び活用のあり方を検討中。

お役立ちツール



EPO中部の ワークショッププログラム

地域循環共生圏づくり（ローカルSDGs実践）に取り組む地域/団体などを対象に、EPO中部が実施したワーキングのプログラムを紹介・公開しています。



活動見える化プログラム

EPO中部では、協働取組の支援のため「活動見える化プログラム」を構築し、地域活動における地域循環共生圏やSDGsへの貢献を可視化する分析手法として活用しています。



SDGsチェックリスト

SDGsチェックリストは事業や活動を17ゴールと関連づける『気付き』のためのツールで、中部地方ESD活動支援センター（EPO中部）のオリジナル・ツールです。

主催セミナーのほか、
ワークショップ、ブース
出展時等で活用

ツールを活用したWSの実施方法(プログラム)等も公開



EPO中部・ 協働コーディネーターのリスト

協働取組の促進には、協働コーディネーターの



中部の環境イベントリスト

中部エリアで開催されている出展可能な環境関



EPO中部関連業務 報告書アーカイブ

平成17年度（2005年度）以降にEPO中部の関連

新たに作成した活動見える化プログラム分析チャートとその活用

長野県長野市 「芋井リビングラボ」

芋井地区住民自治協議会・長野県NPOセンター

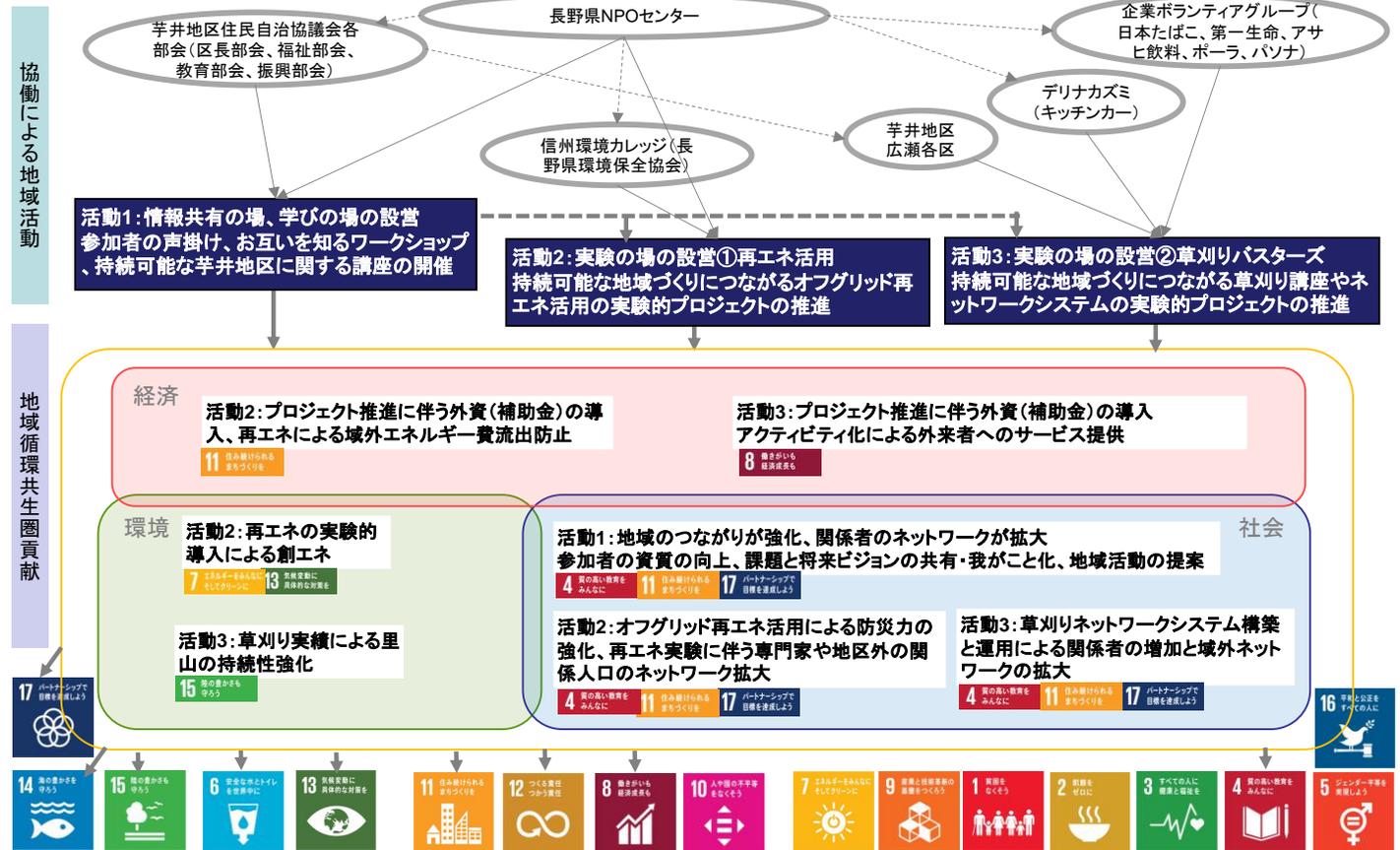
2022年10月時点

全国各地において、市民活動や自治会活動の中心は、これまで高齢の方や主婦の方が担ってきました。しかし、少子高齢化や地域人口の減少、生活スタイルの多様化など地域をとりまく環境は大きく変化し、地域活動のあり方も変化が求められています。そんな変化に柔軟に対応するため、長野市芋井地区では、住民だけでなく芋井地区で事業活動を行う団体や大学生など幅広い参加者を募り、これまでの自治会活動とは別に、多様な視点で持続可能な地域を探る場として「いもリビングラボ」を立ち上げました。

● 取組分析の共有 →

● 活動指標の選定

2月開催の芋井地区勉強会にて活用予定



活動1 情報共有の場、学びの場の設営 →

情報共有や学びの場の参加人数 (人)

活動2 実験の場の設営①再エネ活用 →

課題解決の地域活動実験的プロジェクト提案数 (件)

活動3 実験の場の設営②草刈りバスターズ →

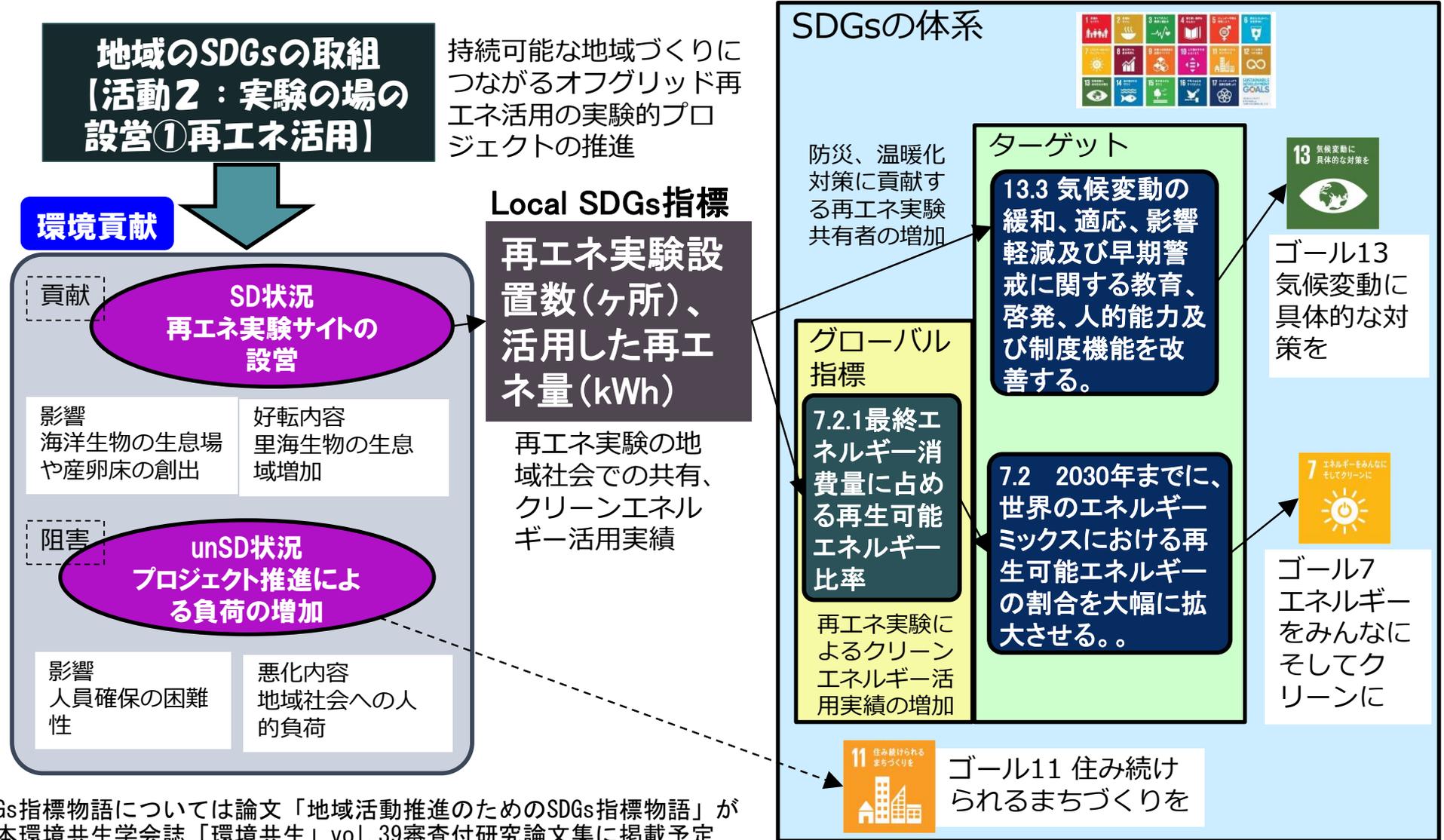
再エネ実験設置数 (ヶ所)、活用した再エネ量 (kWh)

実験関係者数 (人)、波及個所数 (ヶ所)

SDGs指標物語 選定した活動指標のSDGsに対して持つ意味を説明

(例) 活動2 実験の場の設営①再エネ活用

【選定指標】再エネ実験設置数(ヶ所)、活用した再エネ量(kWh)



「NISHIKI SDGs WEEKs」に企画参加

- 昨年度企画参加した「NISHIKI SDGs WEEKs」に今年度も参加し、EPOオフィスを会場に、ワークショップ、閲覧コーナーPRを実施。

① SDGsチェックリスト活用ミニワークショップ「スモールゼミ」を実施

- 2022年10月31日に、独自ツール「SDGsチェックリスト」等を活用した1時間のミニワークショップを、会場：EPO中部にて開催。企業2社・計3名が参加。



② EPO内に「SDGs資料の特設コーナー」を設置

- 「NISHIKI SDGs WEEKs」の参加企画の一つとして、EPO施設内のSDGs資料コーナーをPR。自由に来館、配架資料の持ち帰りができることなどを関連広報媒体・ツールで発信。



- ✓ 参加者・来館者がその後、別イベントへも参加、SNSフォローなどにもつながっている。

その他

行動変容ヒアリング（EPO業務の成果の見える化）

- 昨年度に実施した、EPO・ESDセンター主催イベントの連携・協力主体等を対象にしたヒアリングを計6件実施予定。
- 2023年1月末現在、1件のみ実施。

業務	2022年11月23日開催・地域循環共生圏フォーラムinSUWA 「諏訪広域エリアのもり・さと・かわ・うみビジョン」
対象	(登壇者・共催者)一般社団法人諏訪広域脱炭素イノベーション協会 元木氏
内容・結果	<ul style="list-style-type: none">● 参加された皆様からは、とても良かったとご感想をいただいている。● オンライン視聴の方々からも大変有意義でしたとご連絡をいただいた。● 「地域の取組紹介」に登壇した八十二銀行様には、オンライン視聴されていた飯山市役所から連絡があり、お話しされた内容についての問合せを受けたとのことで、即反響があったことに大変驚かれていた。● 実は開催前までは、参加をお願いした方などにワークショップには参加したくないなどの反応をいただいていたが、開催後、その方たちからも「ワークショップが面白かった」「ワークショップに参加して良かった」などの好意的なご意見をいただいた。● 今回、このような機会を諏訪地域で作り出せたことに感謝している。参加された皆様の意識に変化が起き、行動に移せるような流れがくれたのではと考えている。今回のフォーラムを機に諏訪地域として具体的な成果がつかれるよう微力ながら尽力していきたい。

グリーン・ギフト・地球元気プロジェクト

- ※ 東京海上日動との協働による地域活動の支援 https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/world/greengift/internal_activity/
- 昨年度に引き続き、愛知・福井・三重での3事業のイベント展開(愛知:森の学び舎自然学校、福井:小原ECOプロジェクト、三重:Joint Plus)。
- 今期(2022年9月末)でプロジェクト終了。

地球環境基金／全国ユース環境活動発表大会の支援

- ※ (独)環境保全機構との連携業務 <https://www.erca.go.jp/>
- 2023年度の地球環境基金(助成金)公募の説明会を10月に開催。
- 全国ユース環境活動発表大会への協力として、審査員に水上委員を推薦。
- 次年度以降に基金説明会とは別の形で、機構と連携した環境活動団体への支援のあり方が検討される予定。

愛知県環境学習コーディネート業務

- ※ 愛知県からの受託業務 <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/0000060443.html>
- 環境学習に関する学校等からの相談・照会依頼に対し、相談業務10件、コーディネート業務10件を実施予定。

アサヒ飲料(株)中部北陸支社主催「SDGs 将来世代創造フォーラム2022」に出展

- 主催のアサヒ飲料から、参加を呼びかける中学・高校・大学についての照会等の相談があり、EPOもブース出展することになった(8月24日名古屋市内で開催)。
- ブースでは、資料配架やパネル展示のほか、SDGsチェックリスト記入体験コーナーなど設営。

2人の高校生インターンの受け入れと、高校生作成レポートの公開

- 私立高校1年生によるインターンシップ・プログラムへの協力依頼の相談があり、夏休み期間中の8月・5日間、2名のインターン生をEPOへ受け入れた。
- 上記フォーラムでの出展ブース設営・運営の手伝いほか、同フォーラムに出展していた中学・高校・大学等のブースを取材してレポート記事を作成してもらい、EPOウェブサイトに掲載。<https://www.epo-chubu.jp/epo-news/16815.html>
- また、同時期開催のESD業務イベント(8月25日開催・学び合い①:地域づくりのための気候変動社会教育)に聴講参加してもらった感想記事をESDセンターウェブサイトに掲載。

<https://chubu.esdcenter.jp/2022/08/26/5022.html>



インターン高校生による会場内の取材レポート

EPO中部へインターンシップ(職場体験)で来ていた高校生の二人が、会場内取材レポートを作成してくれました!

会場の雰囲気、出展していた学生たちや企業等によるSDGsへの取組状況、そして高校生レポーター二人の率直な感想などを画像とともに、わかりやすくまとめていただきました。イベントの様子がよくわかりますので、ぜひご覧ください!

▶インターン生の取材レポート「SDGs将来世代創造フォーラム2022に参加してみた」(PDF)

▶インターン生の取材レポート「SDGs将来世代創造フォーラム2022で学んだこと」(PDF)

